

高校生活期待の第一歩



堂々と入場する新入生(6日、木曾青峰高)

木曾青峰高校(木曾町)で6日、蘇南高校(南木曾町)で7日、それぞれ入学式が開かれた。新型コロナウイルス感染症対策で規模を縮小した式典だったが、教職員や在校生から歓迎を受けた新入生計160人は、授業や部活、行事などこれから始まる高校生活への期待に胸を膨らませていた。

青峰、蘇南で入学式

木曾青峰には全日制 表して普通科の小泉壮・定時制の111人が 次郎君||木曾町中学校入学した。新入生を代 出身||が、専門的な

る授業や友人との思い出づくりを思い描き、「新入生一同、目標に向かつて歩んでいきたい」と宣誓した。式辞で栗山嘉章校長は、自ら行う主体性の大切さ、挑戦の2点を新入生に説き「広い視野と教養を身に付け、輝ける未来を育んでいってほしい」と激励した。

(降旗玲菜)

蘇南高には全日制の49人が入学した。式の中で伝統の新入生の宣誓署名が行われた。

青木大河君(15)||南木曾中学校出身||が「日々の努力を積み重ね、周囲への感謝を忘れず誇りを持って生活していきたい」と宣誓を読み上げた。続いて一人一人署名を書き込み、同校へ入学する気持ち新たにした。

小川幸司校長は「13の成長を積み重ねることで、大きな課題に立ち向かい頑張れる自分になる」と話し、「未来の幸せ」のために今頑張る姿勢を求めた。(大高崎慧)